

作成	下水道河川局経営管理部	資料
提出	令和2年7月15日	下-1

令和2年度下水道事業会計 予算の概要

1	予算総括表	・・・・・・・・・・・・・・・・	1頁
2	収支状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	2頁
3	過去5年間の傾向	・・・・・・・・・・・・・・・・	3頁
4	業務量	・・・・・・・・・・・・・・・・	4頁
5	主要事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	5頁

令和2年7月
札幌市下水道河川局

1 予算総括表

(単位：千円)

区分	項目	収入			項目	支出			収支差引			
		令和2年度予算 A	令和元年度予算 B	差引 A-B		令和2年度予算 C	令和元年度予算 D	差引 C-D	令和2年度予算 E (A-C)	令和元年度予算 F (B-D)	差引 E-F	
当年度 収入及び支出	収益的 収入	営業収益	40,500,289	40,787,279	△ 286,990	営業費用	47,221,533	46,959,135	262,398			
		下水道 使用料	21,248,619	21,198,286	50,333	維持管理費	21,253,375	20,926,620	326,755			
		一般会計 負担金等	18,442,192	19,101,677	△ 659,485	人件費	3,487,569	3,320,098	167,471			
		その他	809,478	487,316	322,162	物件費	17,765,806	17,606,522	159,284			
						減価償却費等	25,968,158	26,032,515	△ 64,357			
	支	営業外収益	11,768,338	12,062,166	△ 293,828	営業外費用	3,014,945	3,569,403	△ 554,458			
						予備費	30,000	30,000	0			
		小計	52,268,627	52,849,445	△ 580,818	小計	50,266,478	50,558,538	△ 292,060	2,002,149	2,290,907	△ 288,758
	特別利益	21,373	1,555	19,818	特別損失	92,522	92,462	60	△ 71,149	△ 90,907	19,758	
	計	52,290,000	52,851,000	△ 561,000	計	50,359,000	50,651,000	△ 292,000	1,931,000	2,200,000	△ 269,000	
入 及び 支出	資本的 収入及び 支出	企業債	16,598,000	15,746,000	852,000	建設改良費	22,758,000	23,550,707	△ 792,707	純利益 592,656	純利益 1,159,061	差引 △ 566,405
		建設企業債	16,598,000	15,746,000	852,000	建設事業費	22,731,019	23,531,761	△ 800,742			
		国庫交付金	4,264,500	5,386,627	△ 1,122,127	その他	26,981	18,946	8,035			
		一般会計補助金	409,796	498,166	△ 88,370	償還金	16,741,000	16,958,267	△ 217,267			
		負担金	945,704	785,834	159,870	返還金	70,000	70,000	0			
						予備費	20,000	20,000	0			
	計	22,218,000	22,416,627	△ 198,627	計	39,589,000	40,598,974	△ 1,009,974	△ 17,371,000	△ 18,182,347	811,347	
当年度分 損益勘定留保資金等	14,796,282	14,127,379	668,903					14,796,282	14,127,379	668,903		
合計	89,304,282	89,395,006	△ 90,724	合計	89,948,000	91,249,974	△ 1,301,974	△ 643,718	△ 1,854,968	1,211,250		
過年度分内部留保資金	5,526,438	7,381,406	△ 1,854,968					5,526,438	7,381,406	△ 1,854,968		
総計	94,830,720	96,776,412	△ 1,945,692	総計	89,948,000	91,249,974	△ 1,301,974	4,882,720	5,526,438	△ 643,718		

(注) 令和元年度予算は、平成30年度からの繰越を含む最終予算である。

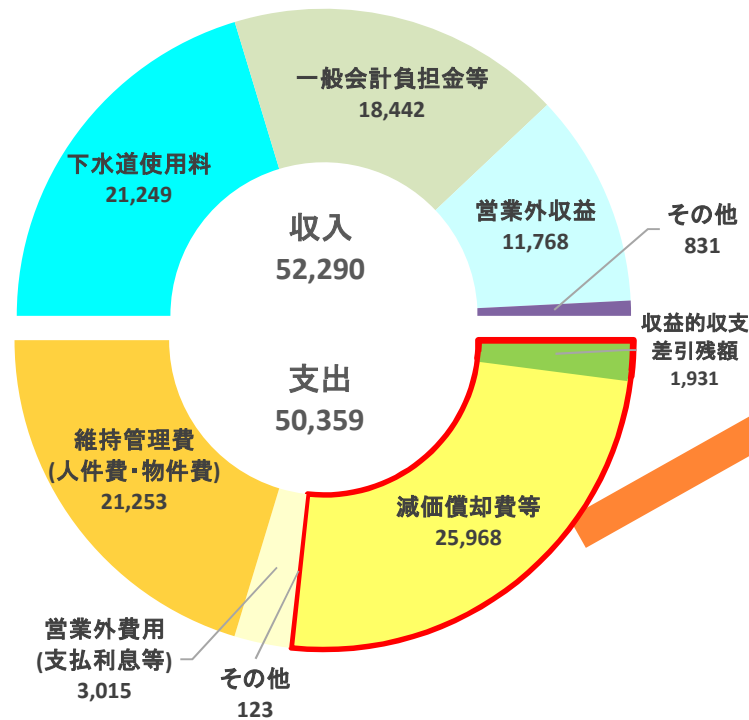
2 収支状況

概要

- ・下水道事業会計は施設の維持管理などに関する「収益的収支」と施設の建設などに関する「資本的収支」に分かれています。
 - ・収益的収支については、収入52,290百万円に対し、支出50,359百万円で差引1,931百万円の残額が生じる見込みです。
 - ・資本的収支については、収入22,218百万円に対し、支出39,589百万円となり差引17,371百万円の不足額が生じる見込みです。
 - ・この不足額については、収益的収支差引残額、当年度分損益勘定留保資金（減価償却費等）等で補填します。
 - ・補填した結果、事業運営に必要な資金は確保できる見込みです。
- ※当年度分損益勘定留保資金とは、現金支出を必要としない費用（減価償却費等）と現金収入を伴わない収益（長期前受金戻入）を相殺した残額のことをいいます。

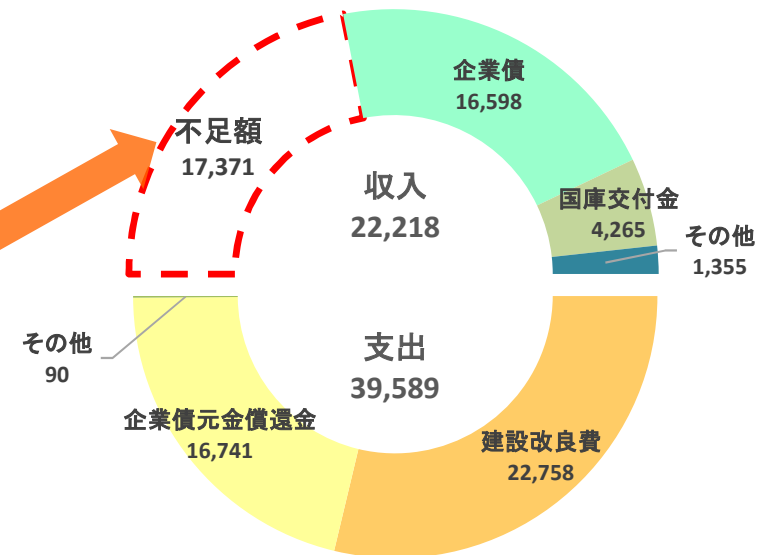
収益的収支

(単位:百万円)



資本的収支

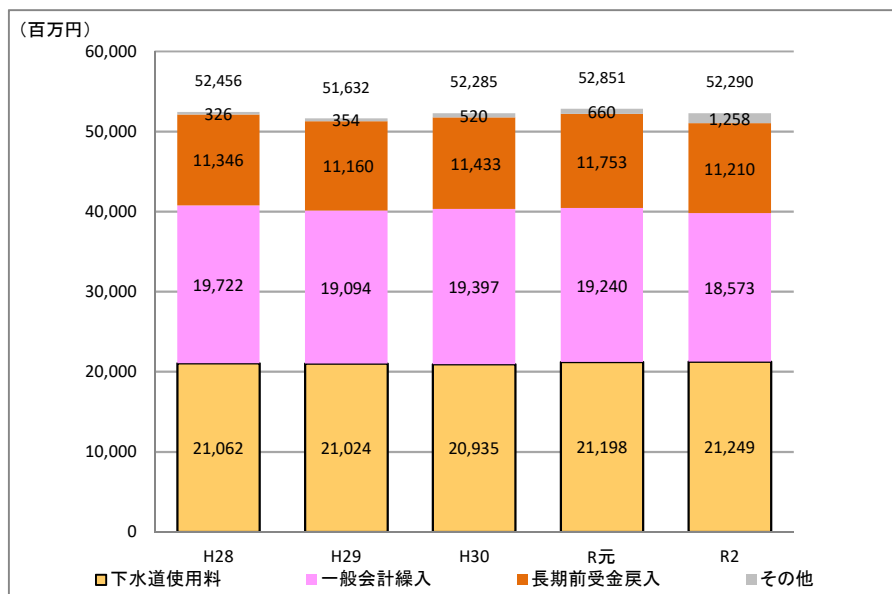
(単位:百万円)



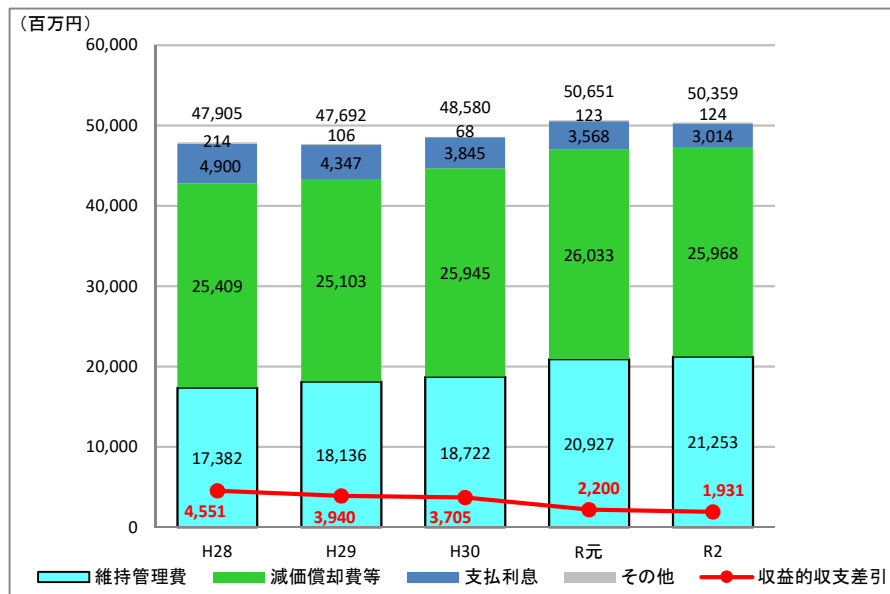
3 過去5年間の傾向

～H30までは実績、R元は繰越を含む最終予算である。～

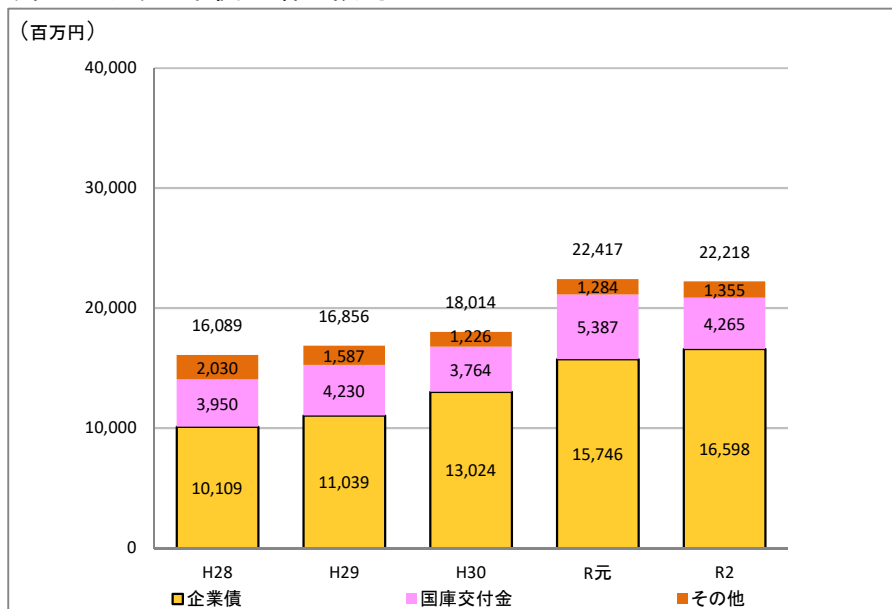
[収益的収入]下水道使用料は横ばい



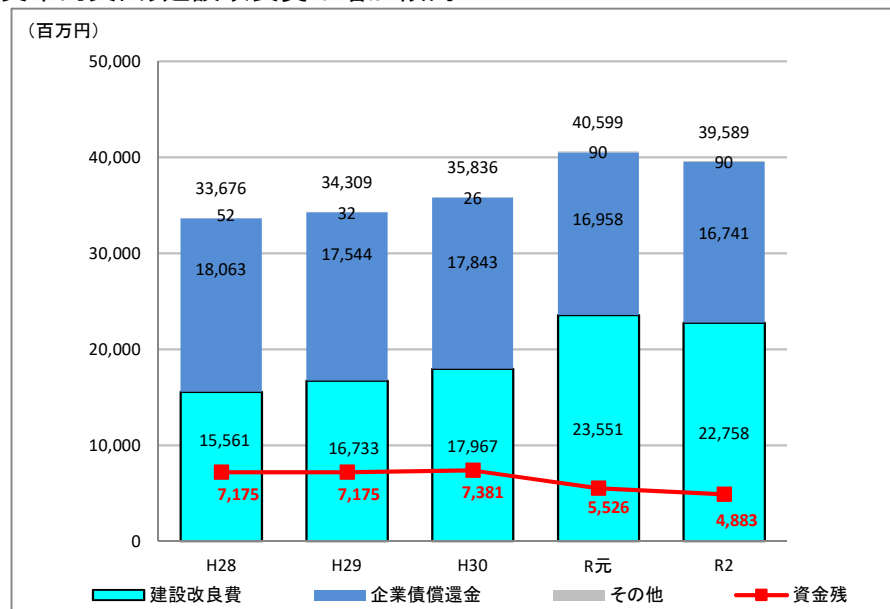
[収益的支出]維持管理費は増加傾向



[資本的収入]企業債は増加傾向



[資本的支出]建設改良費は増加傾向



4 業務量

区 分				令和2年度	令和元年度		差 引 増 減 △				
				予 算 A	予 算 B	決算見込 C	予算対比		決算見込対比		
							増 減 D (A-B)	増減率 (%) D/B	増 減 E (A-C)	増減率 (%) E/C	
総 人 口		千人	ア	1,973.0	1,969.2	1,969.4	3.8	0.2	3.6	0.2	
下 水 道 普 及 状 況	管 路 総 延 長		km	8,308.9	8,307.5	8,296.8	1.4	0.0	12.1	0.1	
	処 理 面 積		ha	24,790	24,790	24,785	0.0	0.0	5.0	0.0	
	処 理 人 口		千人	イ	1,969.1	1,965.2	1,965.5	3.9	0.2	3.6	0.2
	総 人 口 普 及 率		%	イ/ア	99.8	99.8	99.8	0.0	0.0	0.0	0.0
水 洗 化 普 及 状 況	水 洗 化 可 能 人 口		千人	ウ	1,969.1	1,965.2	1,965.5	3.9	0.2	3.6	0.2
	水 洗 化 人 口		千人	エ	1,967.5	1,963.3	1,963.9	4.2	0.2	3.6	0.2
	水 洗 化 普 及 率		%	エ/ウ	99.9	99.9	99.9	0.0	0.0	0.0	0.0
処 理 水 量 等	年 間 処 理 水 量		千m ³		348,430	347,377	330,593	1,053	0.3	17,837	5.4
	晴 天 日 最 大 処 理 水 量		千m ³ /日		939.2	936.4	913.1	2.8	0.3	26.1	2.9
	処 理 能 力		千m ³ /日		1,173.8	1,173.8	1,173.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	処 理 固 形 物 量		t		56,120	56,120	55,700	0.0	0.0	420	0.8
	年 間 有 収 水 量		千m ³		202,236	202,290	202,805	△ 54	△ 0.0	△ 569	△ 0.3

5 主要事業

施設の維持管理に関する業務		施設の建設に関する事業	
総費用	21,253百万円 (対元年度 327百万円増)	総事業費	22,731百万円 (対元年度 800百万円減)
○管路施設の維持管理	4,991百万円 (23.5%)	○下水道施設の再構築	18,943百万円 (83.3%)
〔施設数〕 管理延長	8,296.8km	〔管路〕 老朽管改築等	31.7km
マンホール数	216,248か所	他事業関連	1.6km
公共ます	431,426か所	〔ポンプ場〕 藤野中継ポンプ場電気設備改築等	4か所
〔主な費用内訳〕 (委託料・修繕費)	(4,285百万円)	〔水再生プラザ等〕 西部スラッジセンター焼却設備改築等	8か所
管路調査(TVカメラ)	214km	○下水道施設の災害対策	2,292百万円 (10.1%)
管路点検(目視)	1,413km	〔管路〕 平岸地区等雨水拡充管(浸水対策)	1.5km
管路修繕	5,395か所	浸水に弱い地区への対策(浸水対策)	0.1km
○水再生プラザ・ポンプ場等の維持管理	12,896百万円 (60.7%)	管路耐震化、汚泥圧送管ループ化(地震対策)	1.3km
〔施設数〕 水再生プラザ	10か所	〔ポンプ場〕 茨戸西部中継ポンプ場耐震化(地震対策)	1か所
ポンプ場	18か所	〔水再生プラザ〕 豊平川水再生プラザ耐震化(地震対策)	1か所
その他施設	7か所	○下水道整備と水質改善	1,160百万円 (5.1%)
〔主な費用内訳〕 (委託料) 運転管理・汚泥処理等	(5,117百万円)	〔管路〕 既成市街地事業等(新規整備)	2.1km
(修繕費) 修繕工事等	(2,364百万円)	〔水再生プラザ〕 手稲水再生プラザ等(水質改善)	3か所
(動力費) 電気料金・燃料代金	(3,137百万円)	○下水道エネルギー・資源の有効利用	336百万円 (1.5%)
○その他の経費	3,366百万円 (15.8%)	〔水再生プラザ等〕 新川水再生プラザ(融雪槽の能力増強)	1か所
〔主な費用内訳〕 (負担金) 下水道使用料徴収業務負担金等	(1,629百万円)	西部スラッジセンター焼却設備改築(蒸気発電)等	2か所

(注) (%)は構成比を示す。

【下水道施設の再構築】老朽管の改築

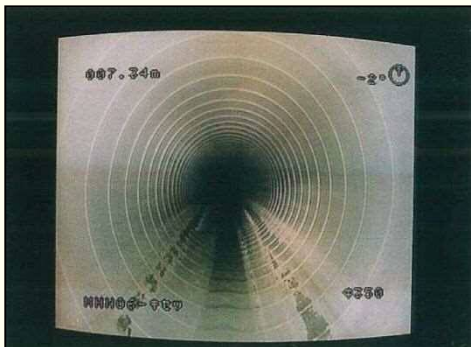
昭和初期に整備した下水管（老朽管）

【改築前】

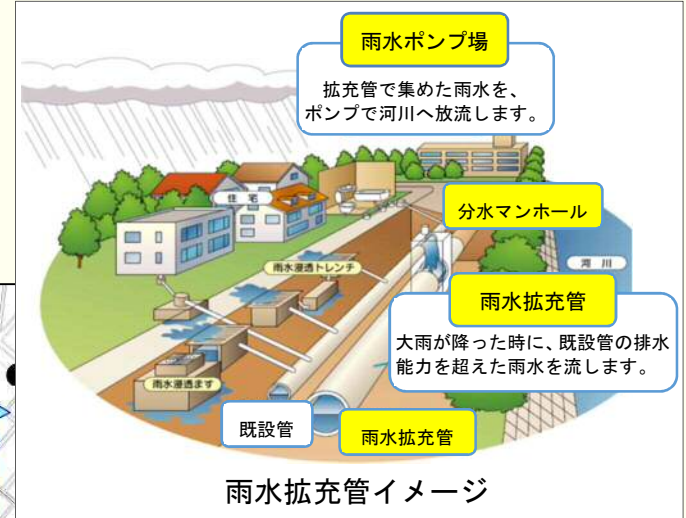


管更生工法による老朽管の改築

【改築後】



【下水道施設の災害対策（浸水対策）】雨水拡充管



雨水拡充管イメージ

令和2年度整備箇所図